

した。

**問** 第4次行革の目標は達成できていないが、対応は持続可能な財政基盤の確立とバランスが重要。第4次行革を着実に推進する。

**答** 財政調整基金残高も目標値には至っていないが、前年度比約6億8千万円の残高回復見込みとなっている。近年にない傾向であり、市長の明確な意思なのか。

**問** 財政調整基金残高の回復は、課題の1つであり、特に意識した。

**答** 臨時財政対策債の満額発行については、これまでの見直すべきと意見してきた。西東京市誕生以来初めて当初予算において、発行額を5億円抑制した。基金同様市長の意思か。

**問** 償還と借入のバランスを意識し、借入を抑制した。

**意見** 基金残高や公債費管理については、池澤色が明確に出ており、この点については高く評価する。今回だけの対応ではなく、今後明確なルール化を行うよう求める。

**公共施設について**

**問** これからの市役所のあり方や市民サービス、行政需要の変化など想定される施設の維持管理コストの最適化をどうするのか。

**答** 現在の保有量を維持した場合、令和42年度までの39年間で約2千億円を超える更新費用が必要。公共施設の質と量の最適化、維持管理コストの縮減を図っていく。

**意見** これまでも指摘したが、床面積保有量の10%減ではなく、効果額が必要である。計画が示された段階で確認する。

**エリア(圏域)の再構築**

**問** 圏域を設定するのであるならば、中学校区をエリアとし、公共施設再編計画などと連携し進めるべきであると言ってきた。市長は学校を中心とした地域性を重視しているが、エリアをどのようにとらえるのか。

**答** エリアの再構築は重要なテーマ。顔の見えるつながりが重要であり、中学校区程度の規模を視野にエリアの設定を検討する。

**待機児童対策**

**問** 本年度の待機児童数は、待機児童ゼロの実現は。地域により偏りがあるのであれば、全体のバランスも考慮する必要があるが、検討状況は。

**答** 4月1日時点の待機児童は36人であり、昨年度より61人減。地域バランスは、市北西部や市東部が比較的多く、この周辺地域に認可保育園1か所、小規模保育所2か所の整備を行い、約110人の受入れ拡大を予定。令和4年4月の待機児童解消へ向け対策を進める。

**若者向け新規事業**

**問** LINEを活用した若者相談事業の取組内容は。

**答** LINEは活用し、自殺防止対策として、若年層の相談環境に視点を置き、生活形態に配慮した内容。

**問** 国の修学支援新制度の認定を受けている西東京市民の学生を対象に、1人当たり5万円を給付するものあり、事務手続は簡素化を図るべきである。

**学童クラブについて**

**問** 定員200%超への対応は。

**答** 教育委員会とも連携し、東小学校の一部施設を学童クラブ用に改修する工事を

実施。今後も教育委員会と協議し、施設確保に努める。

**特別支援学級体制整備**

**問** 4校体制の効果とは。

**答** 拠点校を増やすことで、適切なグループ編成ができ、より個に応じた指導、支援ができると考えている。

**学校応援団について**

**問** どのようなことを期待し、地域へどのような呼びかけをするのか。

**答** 地域ぐるみで子どもたちの学びや成長を支える仕組みをとらえている。子どもたちの健やかな成長や地域への愛着が高まることを期待している。また地域全体の活性化にもつながる。

**意見** 学校関係者の人脈がものすごく大事になる。今ある制度もしっかり活用し、つないでいくことも進めていただきたい。

**学習環境の充実**

**問** 学習進度についていけない児童に対し、どのような対応をとっているのか。

**答** 習熟度別授業で児童生徒の習熟度に合った指導や個別の指導も行っている。

**問** 逆に学校の学習内容では物足りない児童生徒への対応は。

**答** GIGAスクール構想が開始され、学習コンテンツの活用により、予習や応用問題に取り組むことができるようになった。



**意見** 進度についていけない子には丁寧なフォローしていただき、進度に十分な子には天井を設けないような指導を。また学校は個人が学ぶのに加え、友達と関わりあいながら、違いを認めあうこと、支えあうことも大切である。

**ひばり中跡地について**

**問** ひばりが丘中学校はいよいよ2学期から新校舎に移転する。解体後の跡地はどのようにするのか。

**答** 教育委員会の検討段階から調整をし、跡地活用方針等を踏まえながら、方向性を定めていく。

**問** 新校舎は既に竣工している。用地取得額は約35億円であり、現況学校用地の二重保有である。財産をいち早く市長部局に移管し対応を。

**答** 総合管理計画の改定を検討する中で方向性を定める。

**高齢者肺炎球菌ワクチン**

**問** 都補助により、本年10月より65歳以上の自己負担が半額になるが時限措置と聞いている。本市の対応は。

**答** 本年10月1日からの接種分について自己負担額が5千円から2千500円に減額となり、令和5年度までの3年間とする。

**問** 本年9月末までに受けた方は半額とならない。市の単独にて9月末まで受けた方にも対応すべきでは。

**答** 新型コロナウイルスとの兼ね合いで、混乱が予想され、事務の煩雑化やトラブルが想定されるので市独自対応はしない。

**意見** 事務の煩雑ではなく、市民にとり有意義な対応を。福祉施設短期入所整備

**問** 短期入所を活用した緊

急時の受入れ態勢についての拠点整備はどうか。

**答** 泉小学校跡地の障害福祉施設を活用し、緊急時の迅速、確実な相談支援の実施及び短期入所の活用が可能になる。さらに、体験の機会提供や共同生活援助の支援体制を提供していく。

**西武新宿線連続立体交差事業認可までのスケジュールは。**

**答** 本年度に都市計画決定をし、影響が生じる関係権利者の方を対象に用地測量等説明会を行い令和4年度から令和5年度に事業認可を取得する予定であるとのこと。完成は令和18年度から19年度を目指すとのこと。

**東大農場について**

**問** 農場周辺の地区計画が変更されたが、地域の豊かな緑をどのように保存して行くのか。

**答** 地区計画では、キャンパス再整備を行う地区の緑豊かな空間を確保し、土地利用転換が想定される地区の緑化を推進する。

**意見** 都市計画道路3・4・9号線が開通すれば、利便性が大きく向上する。市民行政、東大が連携して農業に親しめる、緑の空間になればと思う。

**温室効果ガス実質ゼロへ**

**問** 単純に二酸化炭素の排出をなくすのではなく、ほかの取組と合わせてゼロにすることを意味している。本市として脱炭素社会に向けた具体的な取組は何か。

**答** 市庁舎等への再生可能エネルギーの導入、環境に配慮した公用車導入など、効果的な取組を検討する。

**意見** 自治体としてどのようなことが効果的なのか。市民への啓発もこれまでと

は違う視点で考えなければいけない。

**コロナ禍における事業者支援**

**問** 市内事業者を取り巻く経営環境は一層厳しい。キャッシュレス決済ポイント還元事業、市内消費喚起事業、エッセンシャルワーカー応援事業の進捗は。

**答** ポイント還元事業については、事業者、消費者に向けた説明会を開催する。消費喚起事業は、9月1日事業開始に向け準備している。エッセンシャルワーカー応援事業は、対象となる事業所に対して案内を発送している。

**問** 消費喚起事業の抽選販売方法と引換方法は。

**答** 7千円分のチケットを5千円で販売し、オンライン及び往復はがきで受け付ける。販売場所は市内19か所の郵便局に依頼している。(仮称)MUFパーク

**問** いこいの森公園をしのぐ広大な緑地と運動場であり、令和5年6月を目途に開放に至った経緯について。

**答** (株)三菱UFJ銀行が所有する武蔵野運動場は、持続可能な環境・社会の実現に向けた取組の一環であるとのこと。

**問** 公・民・学の具体的な連携とは何か。

**答** 多世代が過ごす活動エリアとしては申し分なく、協定内容を生かし、児童生徒、学生の交流を図り地域住民と行政が連携する居場所づくりに努めていく。

**ひばりヶ丘駅周辺**

**問** 駅南口の市道104号線の東側歩道は45mへと拡幅予定だが、どのようにしているのか。西側マンション建設工事との調整は。

**答** 東側歩道の北側約110mにおいて幅員2.5mを4.5mに拡幅する。マンション開発事業等の影響を踏まえ、施工範囲や施工時期を十分調整し事業進捗に努める。

**問** 駅北口都市計画道路3・4・13号線の進捗状況は。

**答** 延長約219mの区間は、用地交渉に向けた準備を東京都、新座市それぞれ進めていると伺っている。

**意見** 3・4・13号線はひばりヶ丘駅北口から調布保谷線への重要な交通ネットワークである。早期整備をしよう要請をお願いする。

**田無駅南口について**

**問** 駅前交通広場については、ゆつくりと着実に進展しているが、イメージ図を掲げることはできないか。

**答** 昨年度までに、事業面積の約20・8%の用地取得を完了した。早期完了を目指し引き続き権利者の皆様に対して事業協力をお願いの継続とともに、移転方法や生活再建等の協議を重ねていく。イメージ図は進捗を踏まえて作成していく。

**問** 認可期間の令和5年3月31日までに完成するのか。

**答** 事業進捗を踏まえると事業認可の延伸については調整検討が必要と考える。



ひばりヶ丘駅南口